

新城市民病院 地域医療研修レポート

名古屋第一赤十字病院 初期研修医 1年次

研修期間：2018年10月29日～11月25日

4週間という短い期間ではありましたが、新城市民病院の総合診療科での地域研修は大変有意義なものでした。病院では総合診療科での初診外来を始め、救急車対応や病棟管理など多くの経験を積ませていただきました。丁寧な問診から分かる情報が診断にたどり着くためのキーになっていることも多々あり、スピーディーにこなさなければいけない救急外来での診療とは違った考察を深める事ができ、とても勉強になりました。

毎日夕方には、初診患者さんの診療内容を皆で振り返る時間が設けてあり、鑑別疾患や検査内容のことなどディスカッションがされていました。研修医の自分にとっては、上級医の先生方がどのようなことを考えて診察や検査、投薬などを行っているのかを知ることができ、また自分の診療にもフィードバックをいただくことができるととても貴重な時間でした。

また毎朝勉強会を持ち回りで開催しており、様々な知識の共有、向上がされていました。毎日新しい知識を得る事が出来るというだけでなく、私も何度か当番で発表させていただきましたが、自分でまとめて発表する事でより深い知識を得る機会をいただきました。

院外研修では、訪問看護、訪問リハビリテーション、老人保健施設、助産所、診療所など様々な施設で研修させていただき、地域医療連携について深く学ぶことができました。訪問看護や往診に同行させていただいた際には、患者さんの自宅での生活状況を実際に見ることで、患者さんの普段の社会背景・生活背景や、病院から患者さんが退院した後の生活を考えた、患者さんに合わせた医療の大切さを実感しました。また、終末期のケアやご家族との関係、関連施設との調整などについても、他職種の方々とのカンファレンスや院内外での研修を通して学ぶ事ができました。

いつも先生方はとても熱心にご指導してくださり、またどのコメディカルスタッフや職員さんも会うたびに必ず挨拶をしてくださり、優しい雰囲気の中で研修をさせていただきました。地域医療における病院、医師の役割について、名古屋での研修では学べないことを多く学ばせていただきました。

総合診療科の先生方を始め、病院スタッフの方々、院外研修でのスタッフの方々など、多くの方に大変お世話になりました。ご迷惑をおかけしたことも多々あったかとは存じますが、温かく受け入れてくださったこと、また充実した研修をする機会を与えてくださったことにこの場を借りて厚く御礼申し上げます。4週間ありがとうございました。